

松禪寺報

第 114 号

<https://syozen.com>

<https://www.facebook.com/syozenji>

発行日 令和 7 年 7 月 25 日

石室山松禪寺

住職 高橋 乾峰

〒 668-0363

兵庫県豊岡市但東町栗尾 469

電話 0796-55-0034

FAX 0796-55-0066

Mail kenpou@syozen.com

お盆

坂村真民

亡くなった人たちに
会える日を作って下さった
釈迦牟尼世尊に
心からお礼を申し上げます

そして亡くなった人たちが
喜んで来て下さる
楽しいお盆にしよう
せつかく来て下さった方々を
悲しませたり
落胆させたり
もう来ないことにしようなどと
思わせたりしない

心あたたかいお盆にしよう
迎え火のうれしさ
送り火のさびしさに
そういう人間本然の心にかえって
守られて生きる
ありがたさを知ろう



村人の身と心を癒やし続ける薬師如来

栗尾ふるさと委員会135が「薬師祭」主催



▲お茶とお菓子で“ほっこり”時間＝7月6日

早々に梅雨が明けて30度超えの暑い日が続くなか、7月6日の午後から、松禪寺を会場に「薬師祭」を執り行いました。主催する「栗尾ふるさと委員会135」（委員長・藤田正一さん）の皆さんには、準備から後片付けまで汗ビッシヨリになりながらお世話になりました。

午後2時から薬師堂にて法要を行い、参拝者皆さんで般若心経三巻を読経し、焼香していただきました。終わって本堂において茶話会と続きました。お茶とお菓子でいろいろな話に花が咲きました。午後3時過ぎには、お薬師様にお供えした餅を参拝者で分かち合いました。

応病与薬、薬師如来の大願に触れながら、今ある暮らしに感謝する一日でした。



▲茶話会＝松禪寺本堂

上善は水のごとし

お盆にお墓参りされると、石塔に水を洒ぎます。これを洒水と言いますが、本来は加持した香水（種々の香木を使った仏像や身を清める水）を洒ぐという意味があります。施餓鬼会でも皆さんに水を洒いでお参りしていただきます。

老子の言葉に「上善は水の如し」があります。

「上善」とは最上の善という意味です。最上の善は水のようなものとは、どういうことでしょうか。



水は万物を潤し、この水によらずに生きるこのできるものは何もありません。にもかかわらず、水はそれによって他を支配しようと争うことはありません。

また、人間が高いところを求めのに対して、水は低いところへと流れていくだけです。さらに、水は低いところへ流れることによって、次第に大きい流れとなり、大海となることができます。

このようにあることが最上の善であると、老子は考えたのではないのでしょうか。

暑い毎日、流れる汗、そんな時のコップ一杯の水は、からだを潤すだけではなく、乾き切った心まで潤してくれます。

ご先祖様にも、清らかな水をお供えし、洒いでまいりましょう。

山寺の早き朝餉や茗荷汁

高橋 英州

て異なりますが、約2百mlが目安とか。1日の始まりにちゃんと朝食を摂り、からだを潤して熱中症を予防しましょう。

茗荷は発汗や呼吸、血液の循環を促進する働きがあるそうです。これもまた、夏バテ予防には適した食材です。

茗荷の独特な香りは好き嫌いがあるかもしれませんが、夏の朝の清々しさが伝わってくる先住の句です。



8月3日＝境内掃除のお願い

連日の猛暑日ですが、第二回目の境内掃除を行いますので、ご協力をお願いいたします。

日 時 8月3日（日）午前8時より

約2時間

作業内容 境内周辺、霊園及び駐車場周辺

の草刈り、境内の草取り等

持 参 刈払機、松葉かきなど

参加対象 清滝、本城、柴地、大貝、佐

田、石原、久畑のそれぞれの
評議員と協力者1名を加えた
計2名のご協力をお願いでき
れば幸いです。



順番	施主	住所
1	山門施餓鬼、添施餓鬼	
2	柴田 巧 家	栗尾
	岡畑 真由美 家	栗尾
3	藤田 正一 家	栗尾
	福田 春彦 家	平田
4	柴田 幸博 家	栗尾
	井上家(長島一恵様)	佐々木
5	中島 達喜 家	茨木市
	平石 妙子 家	久畑
6	浅田 英稔 家	久畑
7	鶏魂供養	栗尾

なお、施
餓鬼会の日
程と今年初
盆を迎えら
れる方は上
表のとおり
です。



大変暑い時期ではありますが、先祖供養のために多くのお参りをお待ちしております。

「餓鬼に施す」と書きますが、餓鬼とは六道（地獄道、餓鬼道、畜生道、修羅道、人間道、天上道）のひとつで、苦しみの世界であり、食べ物が無い飢えの世界なのです。しかも、餓鬼は自分の力で餓鬼世界から抜け出すことができないため、施餓鬼供養がその救いの道とされています。有縁はもとより、無縁の衆生に対しても供養する法要であり、自分自身に与えられた生命に感謝する意味合いもあります。

今年も多数の和尚様により法要を執り行います。施餓鬼はもともと初盆など特定の霊を供養するだけのものではなく、ご先祖様を始め、志す精霊にご供養することによって施主皆様の現世安穩が得られるといわれています。

お せ が き

8月7日（木）
午前10時より

参拝者にはペットボトル茶をご用意しています



令和7年度 棚経の日程（予定）

棚経実施日	地 域
8月8日（金）	（遠方）
8月9日（土）	清滝→本城→柴地→山根→貝田
8月10日（日）	久畑→石原→佐田→大貝→平田→佐々木
8月11日（月）	南尾→出石町(午前)
8月12日（火）	豊岡市→和田山町→福知山市→岩滝
8月13日（水）	西谷

まもなくお盆を迎えます。お盆は、普段から何も催促なされないご先祖さまとの語らいの時でもあります。8月13日が迎え火にあたり、16日が送り火です。お墓をきれいに掃除して、ご家庭では仏壇を丹念に掃除して、お花、ろうそく、お線香、果物、お菓子、季節の野菜などを供えます。

お寺からは、8月8日から13日まで、棚経といって各檀家を廻って回向いたします。右表の日程で参る予定ですが、諸般の都合から急遽変更する場合もありますので、あらかじめご了承ください。朝から廻りはじめますが、後半は午後になります。